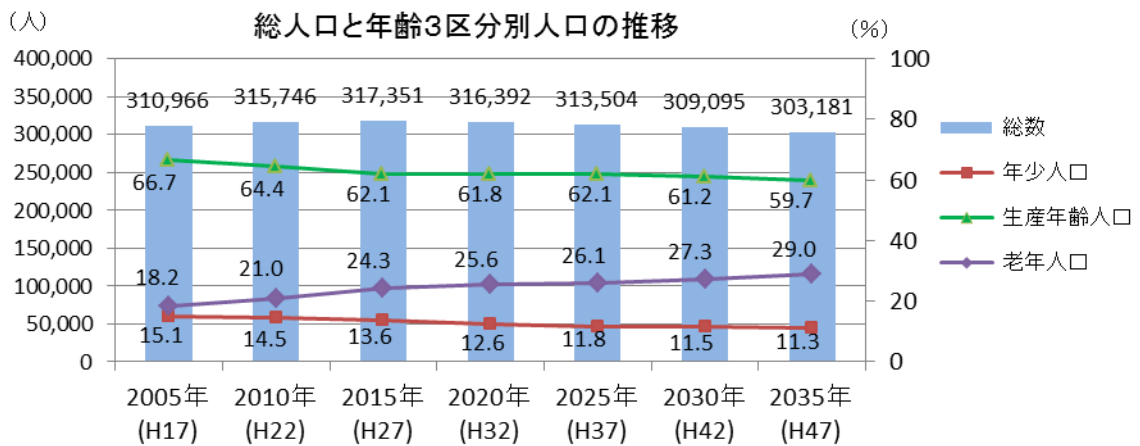


### 3 . 資 料 編

資料1. 本市の総人口と年齢3区分別人口の推移【1-(1)関係】



四日市市総合計画 (H23-H32) 策定時の基礎資料より

資料2. 本市の出生数と出生率の推移【1-(1)関係】

○出生数の推移

(人)

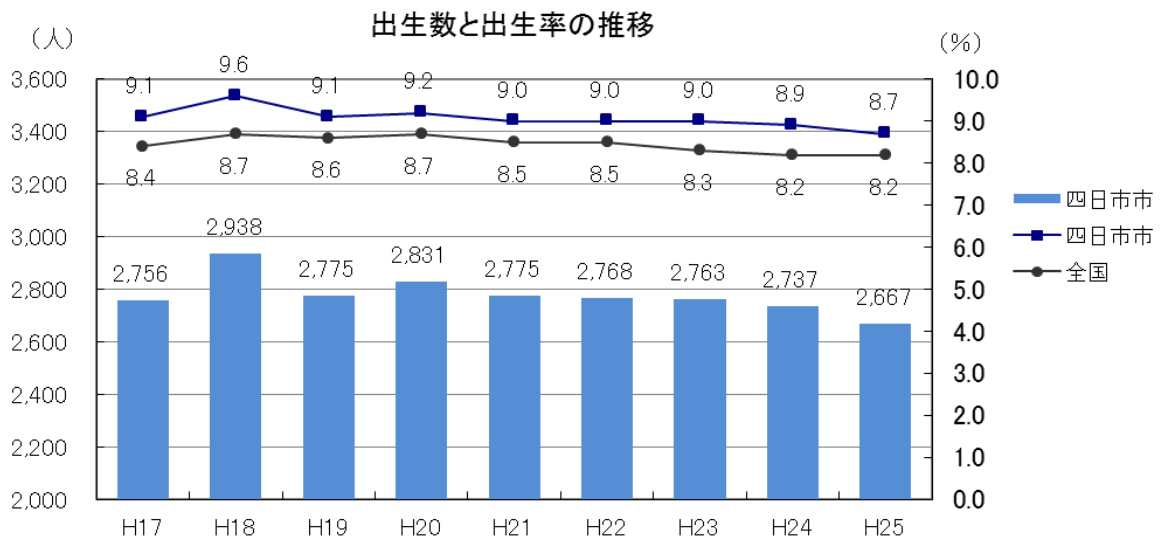
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
四日市市	2,756	2,938	2,775	2,831	2,775	2,768	2,763	2,737	2,667

○出生率の推移

(%)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
四日市市	9.1	9.6	9.1	9.2	9.0	9.0	9.0	8.9	8.7
三重県	8.4	8.6	8.6	8.6	8.6	8.4	8.3	8.1	8.1
全国	8.4	8.7	8.6	8.7	8.5	8.5	8.3	8.2	8.2

出生率は、人口1,000人あたりにおける1年間の出生数の割合をいう。



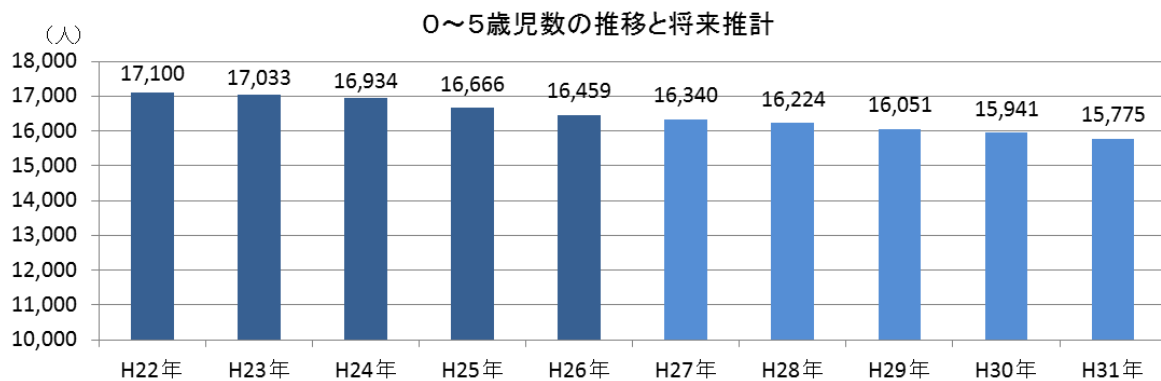
三重県衛生統計年報より

資料3. 本市の0～5歳児数の推移と将来推計【1-(1)関係】

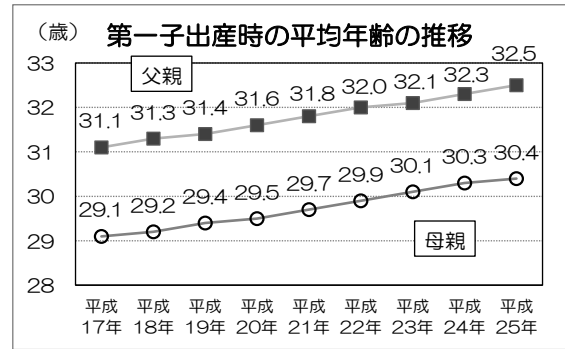
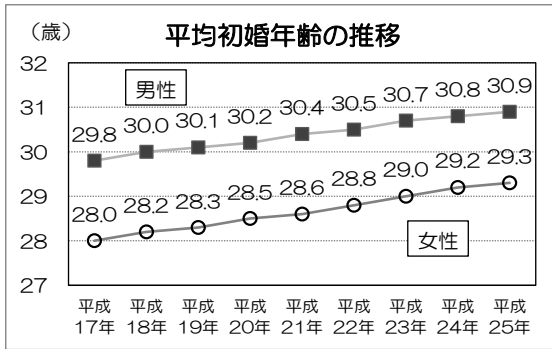
(人)

年度 年齢	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
0歳	2,779	2,828	2,735	2,768	2,656	2,691	2,660	2,635	2,621	2,588
1歳	2,843	2,812	2,880	2,756	2,785	2,687	2,721	2,690	2,665	2,651
2歳	2,803	2,824	2,773	2,828	2,728	2,751	2,654	2,688	2,657	2,632
3歳	2,984	2,802	2,798	2,753	2,785	2,707	2,730	2,634	2,667	2,636
4歳	2,781	2,974	2,766	2,795	2,736	2,769	2,691	2,714	2,618	2,651
5歳	2,910	2,793	2,982	2,766	2,769	2,735	2,768	2,690	2,713	2,617
計	17,100	17,033	16,934	16,666	16,459	16,340	16,224	16,051	15,941	15,775

H27年～H31年の将来推計による子どもの数は、過去5年間（H22年～H26年）における各年4月現在の実績人口より、コーホート変化率法を用いて算出しています。

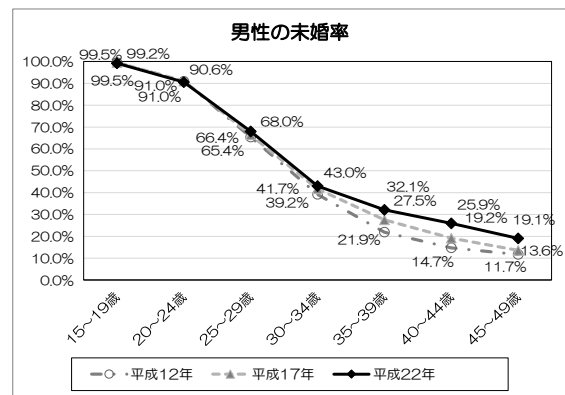
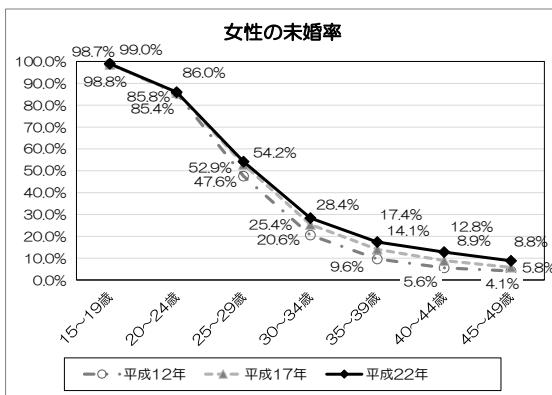


資料4. わが国における平均初婚年齢と第一子出産時の平均年齢の推移【1-(1)関係】



人口動態調査より

資料5. 本市の未婚率の推移【1-(1)関係】



国勢調査より

資料6. 幼稚園・保育園の園児数の状況【1-(2)-②関係】

各年5月1日現在の人数

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
公立幼稚園	1,631	1,619	1,603	1,527	1,372	1,253	1,249	1,224	1,085	1,029	1,007
私立幼稚園	3,221	3,347	3,334	3,237	3,080	3,134	3,145	3,198	3,209	3,138	3,073
計	4,852	4,966	4,937	4,764	4,452	4,387	4,394	4,422	4,294	4,167	4,080

※公立幼稚園は4歳と5歳、私立幼稚園は満3歳～5歳の園児数を表しています。

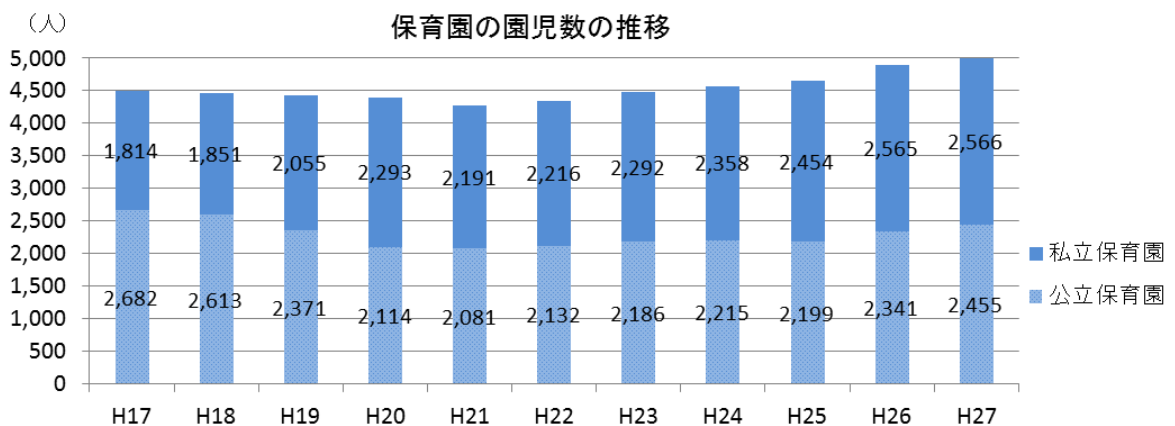
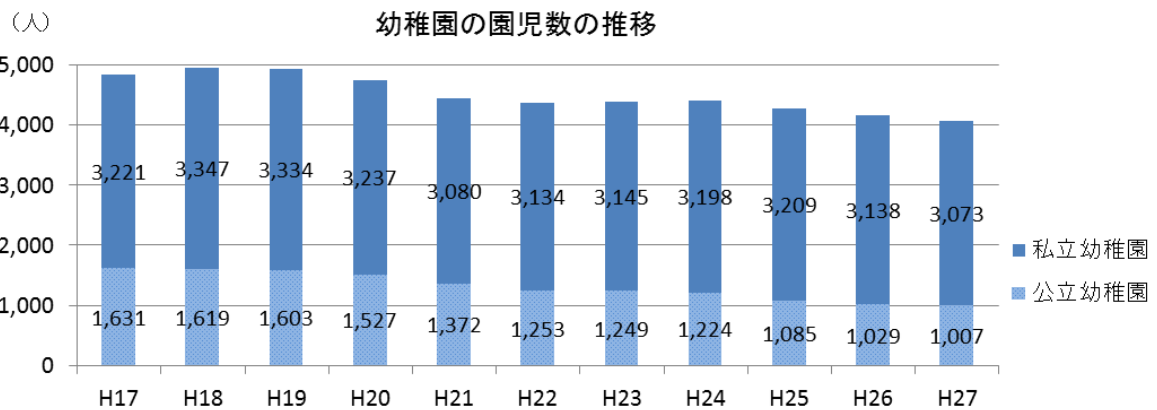
各年4月1日現在の人数

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
公立保育園	2,682	2,613	2,371	2,114	2,081	2,132	2,186	2,215	2,199	2,341	2,455
私立保育園	1,814	1,851	2,055	2,293	2,191	2,216	2,292	2,358	2,454	2,565	2,566
計	4,496	4,464	4,426	4,407	4,272	4,348	4,478	4,573	4,653	4,906	5,021

※0歳～5歳の園児数を表しています。

(人)

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
幼保合計	9,348	9,430	9,363	9,171	8,724	8,735	8,872	8,995	8,947	9,073	9,101

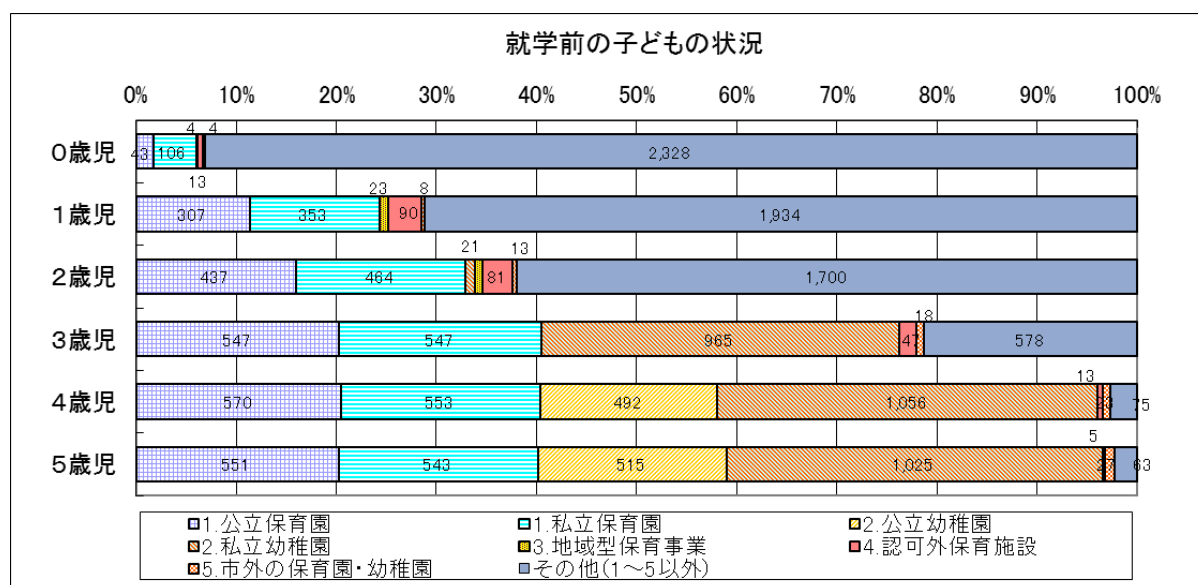


資料7. 就学前の子どもの状況【1-(2)-②関係】

平成27年4月現在の状況

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
就学前の子どもの数		2,498	2,715	2,743	2,702	2,782	2,729	16,169
1. 保育園	公立	43	307	437	547	570	551	2,455
	私立	106	353	464	547	553	543	2,566
2. 幼稚園	公立	—	—	—	—	492	515	1,007
	私立	—	—	27	965	1,056	1,025	3,073
3. 地域型保育事業		4	23	21	—	—	—	48
4. 認可外保育施設		13	90	81	47	13	5	249
5. 市外の保育園・幼稚園		4	8	13	18	23	27	93
1～5以外		2,328	1,934	1,700	578	75	63	6,678

幼稚園は平成27年5月1日現在の園児数で表しています。



資料8. 公立・私立幼稚園一覧【1-(3)-①関係】

平成27. 5. 1現在

幼稚園名（公立）	所在地	園児数						市外在住 の園児数	総園児数	定員	定員に対 する割合	
		4歳児		5歳児		計						
		園児	級	園児	級	園児	級					
四日市幼稚園	元町10-4	12	1	32	1	44	2	—	44	70	62.9%	
橋北幼稚園	高浜町1-4	10	—	11	1	21	1	—	21	70	30.0%	
富田幼稚園	富田1-24-26	21	1	19	1	40	2	—	40	140	28.6%	
海蔵幼稚園	大字東阿倉川580	35	1	32	1	67	2	—	67	140	47.9%	
納屋幼稚園	蔵町5-8	休園中						—	—	—	—	—
泊山幼稚園	前田町1-19	45	2	42	2	87	4	—	87	140	62.1%	
内部幼稚園	采女町911	35	1	39	2	74	3	—	74	140	52.9%	
川島幼稚園	川島町1725	19	1	33	1	52	2	—	52	70	74.3%	
神前幼稚園	高角町338-1	9	—	12	1	21	1	—	21	70	30.0%	
三重幼稚園	東坂部町110-1	26	1	19	1	45	2	—	45	70	64.3%	
保々幼稚園	西村町2738	17	—	14	1	31	1	—	31	140	22.1%	
下野幼稚園	朝明町464	24	1	20	1	44	2	—	44	70	62.9%	
羽津幼稚園	大宮西町19-22	38	2	30	1	68	3	—	68	140	48.6%	
富洲原幼稚園	富洲原町31-14	18	1	19	1	37	2	—	37	140	26.4%	
高花平幼稚園	高花平2-1-56	7	—	10	1	17	1	—	17	70	24.3%	
大矢知幼稚園	大矢知町3255	26	1	32	1	58	2	—	58	70	82.9%	
八郷中央幼稚園	千代田町265-1	12	1	18	1	30	2	—	30	70	42.9%	
桜幼稚園	桜町1420	21	1	12	1	33	2	—	33	140	23.6%	
常磐中央幼稚園	ときわ5-4-53	49	2	52	2	101	4	—	101	140	72.1%	
塩浜幼稚園	大字塩浜887-1	8	—	3	1	11	1	—	11	20	55.0%	
笹川中央幼稚園	笹川3-157	15	1	18	1	33	2	—	33	140	23.6%	
三重西幼稚園	三重3-130	12	—	12	1	24	1	—	24	70	34.3%	
楠北幼稚園	楠町北五味塚2060-63	25	1	31	1	56	2	—	56	210	26.7%	
楠南幼稚園	楠町南五味塚275-1	8	—	5	1	13	1	—	13	140	9.3%	
計		492	19	515	26	1,007	45	—	1,007	2,470	40.8%	

※ 塩浜幼稚園は「幼保一体化」園として市立塩浜西保育園にて合同保育

幼稚園名（私立）	所在地	園児（学級）数						市外在住 の園児数	総園児数	定員	定員に対 する割合
		満3歳	3歳	4歳	5歳	計					
暁幼稚園	天カ須賀五丁目2-5	—	44	51	45	140	(9)	59	199	220	90.5%
エンゼル幼稚園	千代田町459	0	154	158	158	470	(16)	36	506	480	105.4%
富田文化幼稚園	大字茂福905-4	0	41	57	52	150	(9)	5	155	200	77.5%
羽津文化幼稚園	別名五丁目4-31	2	78	81	81	242	(11)	1	243	480	50.6%
ひかり幼稚園	伊倉二丁目8-23	4	89	81	81	255	(10)	0	255	300	85.0%
まきば幼稚園	松本三丁目1-37	—	34	34	36	104	(6)	1	105	145	72.4%
海の星カトリック幼稚園	十七軒町2-4	—	13	20	12	45	(3)	5	50	100	50.0%
あおい幼稚園	大矢知町2700	9	153	156	133	451	(18)	8	459	480	95.6%
桜あおい幼稚園	智積町6104	2	58	75	90	225	(12)	42	267	400	66.8%
ときわ幼稚園	西松本町15-10	2	86	92	92	272	(9)	1	273	280	97.5%
津田第一幼稚園	笹川一丁目106-2	3	87	93	108	291	(11)	6	297	440	67.5%
津田第二幼稚園	笹川七丁目52	2	51	60	50	163	(7)	1	164	360	45.6%
津田三滝幼稚園	川島町6513	2	50	63	63	178	(9)	7	185	240	77.1%
めぐみの園幼稚園	室山町475-1	1	27	35	24	87	(5)	1	88	120	73.3%
計		27	965	1,056	1,025	3,073	(135)	173	3,246	4,245	76.5%

## 資料9. 公立幼稚園の教員の配置の状況【1-(3)-①関係】

### 1. 23園全体の教員数の状況

(人)

職員区分	人数	内訳	
園長	22		
正規職員	50	(担任)	36
		(人権推進)	3
		(フリー)	4
		(産育休等)	7
嘱託職員	14	(担任)	9
		(支援加配)	4
		(産育休等)	1
臨時職員	56	(混合対応副担任)	6
		(少人数加配)	3
		(支援加配)	47
合計	142		

※平成27年4月1日現在の人数で表しています。

### 2. 園別教員数の状況

(人)

園名	園児数	教員総数	教員数		備考
			正規職員 (園長含む)	嘱託・臨時職員	
四日市幼稚園	44	8	3	5	
橋北幼稚園	21	4	2	2	
富田幼稚園	40	7	4	3	
海蔵幼稚園	67	7	4	3	
泊山幼稚園	87	10	5	5	
内部幼稚園	74	10	5	5	
川島幼稚園	52	6	3	3	
神前幼稚園	21	5	3	2	
三重幼稚園	45	6	3	3	
保々幼稚園	31	5	3	2	
下野幼稚園	44	6	3	3	
羽津幼稚園	68	8	3	5	
富洲原幼稚園	37	6	3	3	
高花平幼稚園	17	4	2	2	
大矢知幼稚園	58	6	3	3	
八郷中央幼稚園	30	5	3	2	
桜幼稚園	33	5	3	2	
常磐中央幼稚園	101	11	6	5	
塩浜幼稚園	11	3	2	1	幼保一体化園
笹川中央幼稚園	33	6	2	4	
三重西幼稚園	24	4	2	2	
楠北幼稚園	56	6	3	3	
楠南幼稚園	13	4	2	2	
	1,007	142	72	70	

※園児数は平成27年5月1日現在、教員数(休職中の職員を含む。)は平成27年4月1日現在の人数で表しています。

資料 10. 幼稚園の特別支援教育及び子育て支援等の状況（平成 26 年度）【1-(3)-①関係】

教育内容等	内 容	公立幼稚園	私立幼稚園	備 考	
特別支援教育	特別支援保育について、発達度の確認を行いながら、重度の症状である園児も含め、その園児に応じた支援を行っている。	重度	7 人	支援が必要な在籍園児数 (H27年1月現在)	
		中度	6 2 人		8 人
		軽度	1 2 4 人		1 9 人
人権・同和教育等	関係機関（保育園、小・中学校、人権プラザ等）と連携し、園児たちの生活実態を把握したうえでの保育を実施したり、また、外国人園児に対して、園生活に適応できるよう日本語指導を実施したりする。	3 園		人権教育推進担当職員の配置 園数	
		3 6 人		外国人在籍園児数	
家庭支援を含めた保育の提供	児童虐待が疑われたり、不登園の傾向があるなど、気になる園児の家庭支援を含めた保育の提供を行う。	2 7 件		家庭児童相談室へ実態報告 (経過報告)が必要な件数	
		1 4 件	3 件	小学校への入学予定の「気になる児童」の状況報告件数 (H27年度入学予定者)	
預かり保育	通常保育終了後に、在園児の一時預かりを実施し、保護者に対する育児支援及び園児の健全育成を図る。		○		
3 歳児保育	(保護者の就労要件等に関係なく、) 満 3 歳児からの (3 年) 保育を実施し、集団生活などを早期から体験していく。		○		
子育て支援	園の開放や、親子や子ども同士の交流、地域交流、育児の相談などを通して、入園していない地域の子どもの健やかな成長と保護者の育児を支援する。	○	○		
通園バスによる広域保育	就学前教育の提供として、保護者に園の選択を可能とさせるため、バスによる通園とする。		○		

人数等は、平成 26 年度における実績を記載しています。

資料 1 1. 公立・私立保育園一覧【1-(3)-②関係】

平成27. 4. 1 現在

園名	所在地	市内在住の園児数								市外在住の園児数	総園児数	定員	定員に対する割合
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計					
公立	橋北保育園	川原町26-7	1	12	18	27	20	22	100	—	100	120	83.3%
	富洲原保育園	富洲原町31-35	4	17	23	21	21	20	106	—	106	140	75.7%
	塩浜西保育園	柳町33	1	10	12	17	23	26	89	—	89	90	98.9%
	四郷保育園	室山町233	0	15	18	31	29	36	129	—	129	140	92.1%
	羽津保育園	羽津中二丁目3-2	0	19	24	35	30	29	137	—	137	150	91.3%
	あがた保育園	赤水町966-1	0	10	18	21	22	17	88	—	88	100	88.0%
	大矢知保育園	松寺一丁目11-12	1	12	23	21	27	26	110	—	110	130	84.6%
	中央保育園	元新町2-17	1	15	20	27	24	31	118	—	118	130	90.8%
	ときわ保育園	ときわ五丁目1-12	5	16	29	39	42	43	174	—	174	200	87.0%
	富田保育園	富田二丁目12-9	0	15	17	22	24	21	99	—	99	110	90.0%
	海蔵保育園	大字西阿倉川883-1	4	14	24	27	29	26	124	—	124	140	88.6%
	下野保育園	あさけが丘二丁目1-156	0	10	16	14	12	6	58	—	58	80	72.5%
	内部保育園	采女町1576-1	0	11	18	30	45	21	125	—	125	150	83.3%
	磯津保育園	大字塩浜3050-2	0	5	5	6	9	7	32	—	32	50	64.0%
	坂部保育園	坂部が丘五丁目1-3	0	11	12	12	16	22	73	—	73	90	81.1%
	保々保育園	西村町2725-1	5	11	14	18	23	26	97	—	97	110	88.2%
	笹川保育園	笹川六丁目29-1	0	16	17	28	29	27	117	—	117	120	97.5%
	神前保育園	高角町2985-1	3	9	15	19	23	24	93	—	93	100	93.0%
	日永中央保育園	日永西四丁目1-29	4	16	22	26	30	30	128	—	128	140	91.4%
	笹川西保育園	笹川九丁目16-3	3	12	16	18	21	16	86	—	86	100	86.0%
桜台保育園	桜台一丁目35-28	2	8	16	12	21	22	81	—	81	100	81.0%	
下野中央保育園	朝明町498-1	1	9	17	22	15	20	84	—	84	100	84.0%	
八郷西保育園	あかつき台一丁目2-89	0	14	16	15	9	7	61	—	61	80	76.3%	
くす南保育園	楠町南五味塚752	3	12	15	24	26	26	106	—	106	120	88.3%	
くす北保育園	楠町北五味塚43	5	8	12	15	0	0	40	—	40	60	66.7%	
	計	43	307	437	547	570	551	2,455	—	2,455	2,850	86.1%	
私立	日永保育園	日永二丁目13-23	0	10	19	25	26	21	101	0	101	100	101.0%
	にじのはな保育園	前田町14-20	5	11	16	18	11	11	72	1	73	90	81.1%
	浜田保育園	浜田町10-15	4	10	12	18	19	22	85	0	85	90	94.4%
	ローズ幼児園	桜町534	5	9	18	27	30	32	121	5	126	130	96.9%
	海山道保育園	海山道町一丁目57	5	19	17	28	23	34	126	0	126	120	105.0%
	愛華保育園	平津町844-1	5	16	21	23	20	21	106	0	106	100	106.0%
	三重愛育保育園	生桑町14-3	5	16	23	37	39	39	159	3	162	160	101.3%
	みのり保育所	大宮町26-5	4	16	18	20	20	20	98	0	98	100	98.0%
	かわしま保育園	三滝台四丁目4-4	1	15	17	24	28	22	107	1	108	110	98.2%
	大谷台保育園	大谷台一丁目82	3	12	18	20	25	25	103	0	103	110	93.6%
	フジ保育園	東坂部町150-4	1	13	19	22	22	24	101	5	106	110	96.4%
	いずみ保育園	三重六丁目129	1	14	18	25	24	24	106	2	108	110	98.2%
	あがたが丘保育園	あがたが丘一丁目18-4	3	7	18	20	14	25	87	6	93	90	103.3%
	ひよこ保育園	東日野町1611	9	16	19	21	21	19	105	0	105	100	105.0%
	陽光台保育園	浮橋二丁目7-5	3	9	11	20	21	20	84	0	84	80	105.0%
	たいすい保育園	西日野町字今郷1871-7	4	22	27	30	30	28	141	0	141	130	108.5%
	こっこ保育園	東日野町字道之上986-1	9	15	21	18	24	20	107	1	108	100	108.0%
	西浦保育園	久保田二丁目5-3	11	22	20	0	0	0	53	0	53	60	88.3%
	河原田保育園	河原田町387	3	15	20	22	23	20	103	0	103	100	103.0%
	水沢保育園	水沢町2103-5	1	8	12	15	20	13	69	2	71	70	101.4%
	たいすい中央保育園	鶴の森一丁目10-18	5	16	19	20	18	18	96	0	96	90	106.7%
	高花平保育園	高花平二丁目1-53	2	9	11	17	20	17	76	0	76	70	108.6%
	三重保育園	三重一丁目7	2	11	14	9	17	16	69	0	69	70	98.6%
日の本保育園	松原町3-2	5	16	18	29	11	13	92	1	93	100	93.0%	
どんぐり保育園	野田二丁目275-3	6	16	24	24	24	18	112	0	112	110	101.8%	
市外保育園(くまだ保育園、岸田保育園)		4	10	14	15	23	21	87	0	87	-	-	
	計	106	353	464	547	553	543	2,566	27	2,593	2,500	103.7%	
	合計	149	660	901	1,094	1,123	1,094	5,021	27	5,048	5,350	94.4%	

資料 1 2. 公私立保育園で実施する特別保育事業一覧【1-(3)-②関係】

平成27.4.1現在

施設名	年齢	延長	一時	休日	乳児	乳(産)	子育て
<b>【 公 立 】</b>							
橋北保育園	1～5		●				
富洲原保育園	0～5				●		
塩浜西保育園	1～5						
四郷保育園	1～5						
羽津保育園	1～5						
あがた保育園	1～5						●
大矢知保育園	1～5						●
中央保育園	1～5	●					
ときわ保育園	0～5				●		
富田保育園	1～5						
海蔵保育園	0～5				●		●
下野保育園	1～5						
内部保育園	1～5						
磯津保育園	1～5						
坂部保育園	1～5						
保々保育園	0～5				●		
笹川保育園	1～5						●
神前保育園	0～5				●		
日永中央保育園	0～5				●		
笹川西保育園	0～5				●		
桜台保育園	1～5						
下野中央保育園	1～5	●					●
八郷西保育園	1～5						
くす北保育園	0～3				●		
くす南保育園	0～5		●		●		
<b>公立小計</b>		<b>2</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>9</b>	<b>0</b>	<b>5</b>
<b>【 私 立 】</b>							
日永保育園	1～5	●					
にじのはな保育園	0～5	●			●		
浜田保育園	1～5	●					
ローズ幼児園	0～5	●			●		
海山道保育園	0～5	●	●		●		
愛華保育園	0～5	●	●		●		
三重愛育保育園	0～5	●			●		
みのり保育所	0～5	●	●			●	●
かわしま保育園	0～5	●			●		
大谷台保育園	0～5	●			●		●
フジ保育園	0～5	●			●		
いずみ保育園	0～5	●	●			●	●
あがたが丘保育園	0～5	●				●	
ひよこ保育園	0～5	●	●			●	●
陽光台保育園	0～5	●			●		
たいすい保育園	0～5	●	●			●	●
こっこ保育園	0～5	●	●			●	●
西浦保育園	0～2	●	●	●		●	
河原田保育園	0～5	●	●			●	
水沢保育園	0～5	●	●			●	
たいすい中央保育園	0～5	●	●			●	●
高花平保育園	0～5	●			●		
三重保育園	0～5	●				●	
日の本保育園	0～5	●		●		●	●
どんぐり保育園	0～5	●	●		●		
<b>私立(市内)小計</b>		<b>25</b>	<b>12</b>	<b>2</b>	<b>11</b>	<b>12</b>	<b>8</b>
<b>公私立(市内)合計</b>		<b>27</b>	<b>14</b>	<b>2</b>	<b>20</b>	<b>12</b>	<b>13</b>

※特別支援児の保育は、主に公立保育園にて実施

「延長」:延長保育／「一時」:一時保育／「休日」:休日保育／「乳児」:4か月児からの乳児保育／「乳(産)」:産休明けからの乳児保育

「子育て」:子育て支援センター

資料 1 3. 保育園における待機児童の状況【1-(3)-②関係】

(各年10月1日現在の人数)

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
0歳児	21	21	21	31	26
1歳児	14	20	18	17	29
2歳児	0	10	7	3	0
3歳児	0	0	0	0	0
4歳児	0	0	0	0	0
5歳児	0	0	0	0	0
合計	35	51	46	51	55

資料 1 4. 幼稚園・保育園の一体的提供における制度及び運営【1-(3)-③関係】

	幼稚園	保育園	幼保連携型 認定こども園
所管	文部科学省	厚生労働省	内閣府 (子ども・子育て本部)
根拠 法令	学校教育法	児童福祉法	就学前の子どもに関する教育、 保育等の総合的な提供の推進に 関する法律
教育・保育 内容	幼稚園教育要領	保育所保育指針	幼保連携型認定こども園教育・ 保育要領
目的	幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適切な環境を与えて、心身の発達を助長する。	保護者の委託を受けて、保育の必要性のあるその乳児又は幼児を保育する。	就学前の子どもに教育・保育、 保護者に子育て支援の総合的な 提供を推進する。
対象児	満3歳～就学前	0～就学前	0～2歳児 保育を必要とする乳幼児 3～就学前 全ての幼児
1日の 教育・保育 時間	4時間を標準	8時間を原則	教育認定児 4時間程度 保育認定児 8時間程度
職員 資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	保育教諭 (幼稚園教諭免許と 保育士資格の併有者)
職員配置 (国基準)	1学級あたり専任教諭1人 (1学級の幼児数は、 35人以下が原則)	乳児＝3：1 1・2歳児＝6：1 3歳児＝20：1 4・5歳児＝30：1	乳児＝3：1 1・2歳児＝6：1 3歳児＝20：1 4・5歳児＝30：1

## 認定こども園概要

### 認定こども園とは？

教育・保育を一体的に行う施設で、いわば幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設です。以下の機能を備え、認定基準を満たす施設は、都道府県等から認定を受けることができます。

1

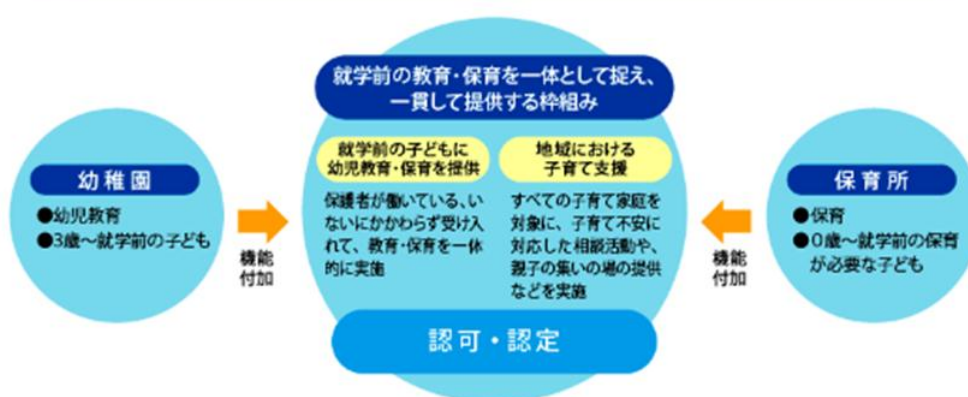
**就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能**

(保護者が働いている、いないにかかわらず受け入れて、教育・保育を一体的に行う機能)

2

**地域における子育て支援を行う機能**

(すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や、親子の集いの場の提供などを行う機能)



認定こども園には、地域の実情や保護者のニーズに応じて選択が可能となるよう多様なタイプがあります。なお、認定こども園の認定を受けても幼稚園や保育所等はその位置づけは失いません。

#### 幼保連携型

幼稚園的機能と保育所的機能の両方の機能をあわせ持つ単一の施設として、認定こども園としての機能を果たすタイプ。

#### 幼稚園型

認可幼稚園が、保育が必要な子どものための保育時間を確保するなど、保育所的な機能を備えて認定こども園としての機能を果たすタイプ。

#### 保育所型

認可保育所が、保育が必要な子ども以外の子どもも受け入れるなど、幼稚園的な機能を備えることで認定こども園としての機能を果たすタイプ。

#### 地方裁量型

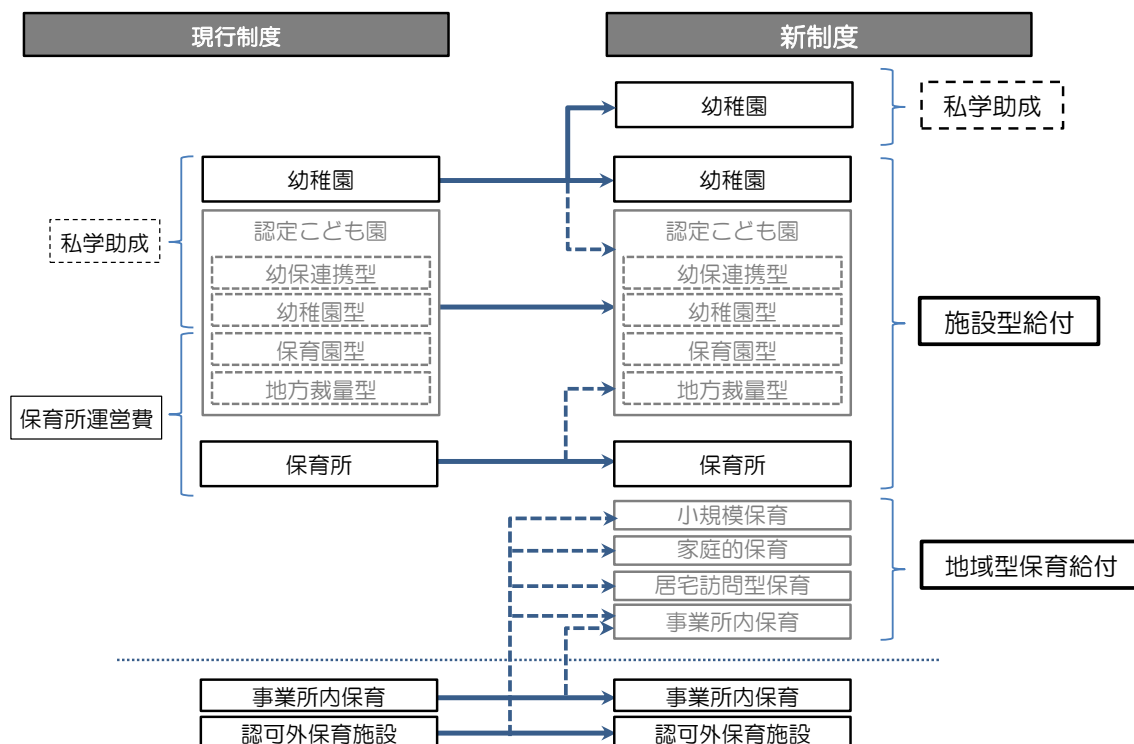
幼稚園・保育所いずれの認可もない地域の教育・保育施設が、認定こども園として必要な機能を果たすタイプ。

内閣府資料より

資料 16. 平成 26 年度の幼稚園・保育園の保育料【1-(4)関係】

1. 公立幼稚園				
保育料 6,900円				
【負担軽減】				
国の「就園奨励費補助制度」に基づく減免(世帯の区分に応じて保育料を減免) [年額]				
		子の区分※		
減免額ランク		第1子	第2子	第3子以降
世帯の区分	1 生活保護世帯	全額	全額	全額
	2 市町村民税非課税世帯	8カ月分	9カ月分	全額
	3 市町村民税所得割非課税世帯	5カ月分	8カ月分	全額
	4 市町村民税所得割5,000円以下世帯	3カ月分	6カ月分	全額
	5 市町村民税所得割10,000円以下世帯	1カ月分	6カ月分	全額
	6 上記以外の世帯	対象外	6カ月分	全額
※子の区分は、小学校3年生までの兄・姉から数えて、園児を第1子、第2子、第3子以降と区分				
2. 私立幼稚園				
保育料 14園の平均23,965円(各園で異なる。18,500円~26,000円)				
【負担軽減】				
① 国の「就園奨励費補助制度」に基づく補助(世帯の区分に応じて年度末に各家庭に支給) [年額]				
		子の区分		
補助額ランク		第1子	第2子	第3子以降
世帯の区分	1 生活保護世帯	308,000円	308,000円	308,000円
	2 市町村民税非課税世帯 市町村民税所得割非課税世帯	199,200円	253,000円	308,000円
	3 市町村民税所得割77,100円以下世帯	115,200円	211,000円	308,000円
	4 市町村民税所得割211,200円以下世帯	62,200円	185,000円	308,000円
	5 上記区分以外の世帯	対象外	154,000円	308,000円
※子の区分は、小学校3年生までの兄・姉から数えて、園児を第1子、第2子、第3子以降と区分				
② 所得にかかわらず年額8,700円補助(年度末に各家庭に支給)				
3. 公立・私立保育園				
保育料 下表「保育料基準額表」に基づき、所得に応じて保育料を設定				
<b>四日市市保育料基準額表</b>				
納入義務者の属する世帯の階層区分		保育料基準額(月額) 単位:円		
階層区分	定義	3歳未満児	3歳児	4歳児以上
第1	生活保護法による被保護世帯(単給世帯を含む)及び、中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律による支援給付受給世帯	0	0	0
第2	前年度分の市町村民税非課税世帯<母子家庭、在宅障害者(児)のいる世帯のみ>	0	0	0
第3	前年度分の市町村民税非課税世帯<母子家庭、在宅障害者(児)のいる世帯は除く>	6,700 ( 3,350 )	4,900 ( 2,450 )	4,200 ( 2,100 )
第4	市町村民税の額の区分が均等割の額のみ(所得割の額のない世帯)	11,000 ( 5,500 )	7,900 ( 3,950 )	7,300 ( 3,650 )
第5	所得割の額のある世帯	12,200 ( 6,100 )	9,100 ( 4,550 )	8,600 ( 4,300 )
第6	8,500円未満	15,600 ( 7,800 )	11,700 ( 5,850 )	10,800 ( 5,400 )
第7	8,500円以上 40,000円未満	26,400 ( 13,200 )	19,300 ( 9,650 )	16,800 ( 8,400 )
第8	40,000円以上 71,500円未満	35,900 ( 17,950 )	25,000 ( 12,500 )	20,800 ( 10,400 )
第9	71,500円以上 103,000円未満	41,900 ( 20,950 )	27,300 ( 13,650 )	22,600 ( 11,300 )
第10	103,000円以上 258,000円未満	47,600 ( 23,800 )	29,800 ( 14,900 )	25,000 ( 12,500 )
第11	258,000円以上 413,000円未満	52,000 ( 26,000 )	31,900 ( 15,950 )	25,800 ( 12,900 )
第12	413,000円以上	58,500 ( 29,250 )	33,100 ( 16,550 )	26,600 ( 13,300 )

資料 17. 新制度における教育・保育施設の枠組み及び財政措置の概要【1-(4)関係】



資料 18. 国基準の利用者負担額（満3歳以上）【1-(4)関係、2-(7)関係】

階層区分	推定年収	利用者負担額
生活保護世帯	—	0円
市町村民税所得割非課税世帯	～270万円	3,000円
市町村民税所得割課税額77,100円以下	～360万円	16,100円
市町村民税所得割課税額211,200円以下	～680万円	20,500円
市町村民税所得割課税額211,201円以上	680万円以上	25,700円

資料 19. 四日市市幼稚園・保育園のあり方検討会議委員名簿

(敬称略 五十音順)

氏名	所属機関等	備考
稲玉 有吏	四日市市立保育園 園児の保護者 (幼保一体化園：四日市市立塩浜西保育園保護者会 代表)	
岩井 美順	四日市市立幼稚園 (泊山幼稚園長)	
衛藤 真志	四日市私立幼稚園 園児の保護者 (四日市私立幼稚園 P T A 連合会 代表)	
川邊 雅史	四日市市立小学校 (日永小学校長) ※加藤 剛 元常磐小学校長 (~ 第 3 回) から引継	H27 年度 (第 4 回~)
小林 慶太郎	四日市大学 総合政策学部 教授	
佐々木 正利	四日市私立保育連盟 会長	
鈴木 美可	四日市市立保育園 (内部保育園長)	
須永 進	三重大学 教育学部 教授	会長
橋本 宗子	四日市市民生委員・児童委員協議会連合会 主任児童委員部会 部会長	
藤森 仁美	四日市市立幼稚園 園児の保護者 (四日市市立泊山幼稚園 P T A 代表)	
松永 高弘	四日市私立幼稚園協会 会長	

## 資料 20. 検討経過

	会議の概要
第1回	<p>【平成 26 年 11 月 19 日開催】</p> <p>本市における幼稚園・保育園の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の人口推移等について</li> <li>・幼稚園・保育園の園児数の推移</li> <li>・公立の幼稚園・保育園の現状（充足率、混合クラス、待機児童数）</li> </ul>
第2回	<p>【平成 27 年 1 月 30 日開催】</p> <p>本市における幼稚園・保育園の現状について（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立幼稚園の教員の配置</li> <li>・保育園で実施する特別保育事業について</li> <li>・将来推計人口</li> <li>・学級の基準（国、他市）</li> </ul> <p>就学前教育における適正な規模等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校規模の基準について</li> <li>・小規模園に関する本市の対応</li> <li>・小規模園のメリット、デメリット</li> </ul>
第3回	<p>【平成 27 年 3 月 17 日開催】</p> <p>幼稚園における教育等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育の基本とする事項、内容</li> <li>・幼稚園の実施体制、教育・子育て支援の内容</li> </ul> <p>利用者負担について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者負担額の算定のしくみ、現状比較、新制度への対応</li> <li>・28 年度以降の公私立幼稚園の利用者負担</li> </ul>
第4回	<p>【平成 27 年 5 月 20 日開催】</p> <p>就学前教育・保育の一体的提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一体的提供の制度及び運営、幼保一体化園の現状</li> <li>・新制度における幼保連携型認定こども園</li> </ul> <p>利用者負担について（継続）</p> <p>～新制度における幼稚園・保育園の利用者負担の課題について～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、定額の公立幼稚園の利用者負担額について</li> <li>・新制度移行園の利用者負担額と保育園の利用者負担額との比較</li> <li>・新しい利用者負担額の実施時期</li> </ul>
第5回	<p>【平成 27 年 7 月 13 日開催】</p> <p>就学前教育・保育における基本的な考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育環境、教育環境の適正化に向けた基本的な方針</li> </ul> <p>利用者負担について（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園利用者の負担についての基本的な考え方</li> <li>・国基準の利用者負担額を適用した場合の問題点</li> <li>・幼稚園利用者の負担額について</li> </ul>
第6回	<p>【平成 27 年 8 月 25 日開催】</p> <p>就学前教育・保育の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な方針の具体的な対応</li> <li>・幼稚園の利用者負担額の設定及び実施時期の基本的な方針</li> </ul>
第7回	<p>【平成 27 年 10 月 8 日開催】</p> <p>幼稚園・保育園のあり方について（まとめ）</p>

## 4. 別記

---

「四日市市幼稚園・保育園のあり方について（報告書）」に対する委員の意見について

第7回検討会議（平成27年10月8日）において、本報告書を検討会議の総意としてまとめましたが、各委員からそれぞれの立場における意見として挙げられた内容を、以下のとおり別記する。

### <公立幼稚園 園児の保護者>

- 公立の保護者にとっては、3歳児保育の実施をとっても期待している。公立幼稚園の園児数が今の状況に至った要因は、3歳児保育がなかったことに多くあると思う。これまでの経緯にとらわれないで、保護者が平等に子育てができるように、公立幼稚園の3歳児保育の実施を考えてほしい。

また、公立と私立の保育料を同額にするのであれば、公立と私立が同じ土台で教育を行うべきであり、公立も3歳児保育を実施して保護者が平等に選択できるようにしないと保護者は納得しないのではないかと。

- 幼稚園は、義務教育ではなく、親の自由な選択である。保育料が高くても私学の魅力で選ぶ方もいれば、仕事をしたいから保育園を選ぶ方もいるが、家庭の状況で公立を選ぶ方もいるため、保護者が地域で公立幼稚園を選択することができるように、保育料の設定を下げしてほしい。
- 近年の少子化、核家族化、地域のつながりの希薄化という部分で考えると、子どもが地域で育っていくということは大事なことであり、地域の幼稚園に通わせることで、保護者の子育ての不安がなくなり、安定した気持ちになれると思う。

### <公立保育園（幼保一体化園）園児の保護者>

- 保育園・幼稚園、公立・私立といった形態や預けている家庭の状況も違うと思うが、子どもも親もその園を大好きになれる園づくりを進めてほしい。
- 保護者もいろいろな意見をもっているため、市や教育の専門の方等との議論の場には、その意見を吸い上げて議論してほしい。

### <四日市私立幼稚園 園児の保護者>

- 保護者や園の方々などそれぞれのグループで議論したことをこういった場でまた議論するような形式でもよかった。
- 検討会議における委員のまとめに対する意見の内容も分かるように報告書に付けてはどうか。

### <公立幼稚園 園長会代表>

- 子どもたちが刺激を受け合って育ち合える環境の構築という部分では本当に賛同できるが、年々幼児の姿が多様化してきている中で一人一人にあった教育という点で考えると、18人という基準が少し高いのではないかと考えている。
- 4歳児と5歳児の保育料に違いが出ることがないように、保育料の改定を早くても30年度から一斉実施とし、激変緩和措置として、何年かかけて段階的値上げにしてほしい。

#### <公立保育園 園長会代表>

- 地域の見守りの中で育ち、地域の繋がりの中で支え合って、やっと保育園に通える家庭やお子さんもみえることを念頭に置いて進める必要がある。

#### <四日市私立幼稚園協会代表>

- これまでの四日市の幼児教育が成り立ってきた経緯は大事なことであり、例えば公立・私立の保育園の成り立ちもしかり、いろいろな関係で成り立ってきているので、それを考えないで進めることはできないのではないかと。
- 3歳児保育の必要性は分かるが、平等というのであれば、私立の3,300人いる保護者の立場からすると、公立の保育料6900円を私立と同じ額にするべきだと考えるだろう。しかも公立で3歳児保育を行えば、市も膨大な経費、財政支出が必要になってくる。そうしたいろいろなことを含めて、これまで3歳児保育は私立で担ってきたのであると思うが、公立で3歳児保育を行えば、公私の歪みも生じてくる。
- 公立・私立の幼稚園や保育園が今やるべきことは、それぞれの役割、バランスを考えながら、よりニーズに合ったところを保護者が選んでいただけるように考えていくことである。平等と言うならば、どこで平等というのか、一部だけ平等というわけにはいかない。保護者の中でも、それぞれの立場によって、言うことも違ってくると思う。

#### <四日市私立保育連盟代表>

- 18人という基準が少し高いという意見があったが、保育園では、3歳児のクラスが国基準では20人で運営されていることを考えると、4・5歳児なら人数がもっと多くてもよくなるのではないかと思う。
- 保育料が高いという意見もあったが、今回の方針の内容は、少なくとも国の基準より2割は低額となっているので、かなり安い設定になっている。

#### <四日市大学教授>

- 公立幼稚園のあり方を考える場合、他の自治体で検討されているように、一部民営化をしていくようなことも議論に挙げたうえで、本当に公立でやるべき部分と私立に移管する部分というものの議論があってもよかったと思う。

#### <民生委員・児童委員協議会連合会 主任児童委員部会代表>

- 今後、四日市の社会情勢や少子化が顕著に表れてきたとき、設定する保育料でどういう現象が生じるのかといったことも想定しながら、四日市で子育てしたいと思えるような子育て支援の施策ということも考えてほしい。
- 園を選択できる家庭はよいが、選択肢が少ない、選択することができない家庭があるので、その子供たちの保育、養育、教育を確保するためには、数字だけではなく、どのようなことが必要なのか、いろんな視点から考えてほしい。

#### <四日市市立小学校代表>

- 現在、市立小学校や中学校、幼稚園、保育園では、中学校区単位で学びの一体化に取り組んでいるため、基本的な方針の具体的な対応を進めるにあたっては、教育委員会と連携を図って取り組んでほしい。